

巻	号	通号	年	月	日	種別	タイトル	著者	頁数	備考	
3	1	不明	1908	1	不明	口絵	加藤博士の「吾国体と基督教」を読む	井上哲次郎	1		
3	1	不明	1908	1	不明	口絵	生花美論	遠藤隆吉	18		
3	1	不明	1908	1	不明	口絵	客観とは何ぞや	吉田静致	23		
3	1	不明	1908	1	不明	口絵	質の差と量の差	紀平正美	37		
3	1	不明	1908	1	不明	口絵	人格の意義を論ず	吉田熊次	45		
3	1	不明	1908	1	不明	口絵	拙者の批評に就て	加藤弘之	51		
3	1	不明	1908	1	不明	口絵	仏教文学に就きて	常盤大定	61		
3	1	不明	1908	1	不明	口絵	耶穌の不可思議出生に関する予言	藤田季荘	65		
3	1	不明	1908	1	不明	口絵	キールケゴールの人格	葉山薫次郎	77		
3	1	不明	1908	1	不明	口絵	縦論横議	小林一郎	82		
3	1	不明	1908	1	不明	口絵	西欧文芸に見はれたる道徳的要素	森巻吉	88		
3	1	不明	1908	1	不明	想華	トルストイ伯の沙翁論に就て	松浦一	94		
3	1	不明	1908	1	不明	想華	火	尾上柴舟	101		
3	1	不明	1908	1	不明	想華	二日	鈴木三重吉	102		
3	1	不明	1908	1	不明	想華	笠と笠	青木吾汀	105		
3	1	不明	1908	1	不明	想華	家庭教師	堀竹雄	110		
3	1	不明	1908	1	不明	想華	田舎楽師	小林花浪	114		
3	1	不明	1908	1	不明	想華	貞操	正富汪洋	123		
3	1	不明	1908	1	不明	想華	筆	三谷蘆華	126		
3	1	不明	1908	1	不明	想華	松島句帖	志田素琴	128		
3	1	不明	1908	1	不明	想華	抄針	幸田露伴	131		
3	1	不明	1908	1	不明	雑俎	戯界漫言	水調子	141		
3	1	不明	1908	1	不明	雑俎	公設美術展覧会を観る	田中牛	153		
3	1	不明	1908	1	不明	彙報			161		
3	1	不明	1908	1	不明	新刊紹介			165		
3	2	不明	1908	2	不明	口絵	加藤博士の「吾国体と基督教」を読む	井上哲次郎	1		
3	2	不明	1908	2	不明	口絵	公家氣質	三上参次	8		
3	2	不明	1908	2	不明	口絵	客観とは何ぞや	吉田静致	29		
3	2	不明	1908	2	不明	口絵	文芸と社会	上田敏	40		
3	2	不明	1908	2	不明	口絵	我国婦人の将来に就いて	蝶川龍夫	47		
3	2	不明	1908	2	不明	口絵	『言文一致』の取捨	岡澤鉦次郎	54		
3	2	不明	1908	2	不明	口絵	教育の根本的基礎	浦谷龍吉	61		
3	2	不明	1908	2	不明	口絵	トルストイ伯の沙翁論に就て	松浦一	72		
3	2	不明	1908	2	不明	口絵	西欧文芸に見はれたる道徳的要素	森巻吉	78		
3	2	不明	1908	2	不明	口絵	縦論横議	小林一郎	82		
3	2	不明	1908	2	不明	口絵	耶穌の不可思議出生に関する予言	藤田季荘	89		
3	2	不明	1908	2	不明	口絵	歌学者としての六人都是香	佐々木信綱	96		
3	2	不明	1908	2	不明	想華	休戦	生田葵	103		
3	2	不明	1908	2	不明	想華	冬季演奏会	中村祐林	110		
3	2	不明	1908	2	不明	想華	夜の鳥	前田夕暮	113		
3	2	不明	1908	2	不明	想華	蝙蝠傘	若山牧水	114		
3	2	不明	1908	2	不明	想華	露	相馬榿堂	120		
3	2	不明	1908	2	不明	想華	泥海の歌	沢村胡夷	121		
3	2	不明	1908	2	不明	想華	桜の遠音	大塚楠緒子	123		
3	2	不明	1908	2	不明	想華	九龍齋雑詩	有馬祐政	124		
3	2	不明	1908	2	不明	想華	述懐四首	高島平三郎	124		
3	2	不明	1908	2	不明	雑俎	訪問談(三宅博士と高橋博士)		125		
3	2	不明	1908	2	不明	雑俎	宗教と国家に就いて	高橋順次郎談	126		
3	2	不明	1908	2	不明	彙報			127		
3	2	不明	1908	2	不明	新刊紹介			131		
3	3	不明	1908	3	不明	口絵	口繪				
3	3	不明	1908	3	不明	口絵	道徳的原理としての自律について	藤井健治郎	1		
3	3	不明	1908	3	不明	口絵	文芸と社会	上田敏	14		
3	3	不明	1908	3	不明	口絵	倫理学説	西田幾多郎	27		
3	3	不明	1908	3	不明	口絵	仏教文学に就きて	常盤大定	38		
3	3	不明	1908	3	不明	口絵	吉田学士の『客観とは何ぞや』を読む	北沢定吉	43		
3	3	不明	1908	3	不明	口絵	『言文一致』の取捨	岡澤鉦次郎	49		
3	3	不明	1908	3	不明	口絵	トルストイ伯の沙翁論に就て	松浦一	53		
3	3	不明	1908	3	不明	口絵	取蘇の不可思議出生に関する豫言	藤田季荘	59		
3	3	不明	1908	3	不明	口絵	狩野芳崖の観音書	吉田修次	63		
3	3	不明	1908	3	不明	口絵	心の人と眼の人	葉山薫次郎	78		
3	3	不明	1908	3	不明	口絵	歌学者としての六人都是香	佐々木信綱	85		
3	3	不明	1908	3	不明	口絵	縦論横議	小林一郎	89		
3	3	不明	1908	3	不明	想華	醉人	小山内薫	97		
3	3	不明	1908	3	不明	想華	カンフル	大塚楠緒子	101		
3	3	不明	1908	3	不明	想華	鐘	沼波瑠音	107		
3	3	不明	1908	3	不明	想華	蝙蝠傘	若山牧水	111		
3	3	不明	1908	3	不明	想華	牧童	萩原水衣	120		
3	3	不明	1908	3	不明	想華	神琴	佐々木信綱	122		
3	3	不明	1908	3	不明	雑俎	個人の主義又は理想の実行と社会的制裁との関係	中島力造氏	123		
3	3	不明	1908	3	不明	雑俎	社会意識及び個人意識外二項	遠藤隆吉	124		
3	3	不明	1908	3	不明	雑俎	神と修養とに就て	幸田露伴、福来友吉、深作安文	125		
3	3	不明	1908	3	不明	雑俎	支那教育界の現況(在上海)	宇野哲人	127		
3	3	不明	1908	3	不明	雑俎	劇界漫言	田中水調子	129		
3	3	不明	1908	3	不明	彙報			132		
3	3	不明	1908	3	不明	新刊紹介			137		
3	4	不明	1908	4	不明	口絵	民衆主義の弱点を論ず	吉田熊次	1		
3	4	不明	1908	4	不明	口絵	徳育不振の理	深作安文	11		
3	4	不明	1908	4	不明	口絵	倫理学説	西田幾多郎	25		
3	4	不明	1908	4	不明	口絵	記念と形見との異同を辨じて国民性に及ぶ	志田義秀	34		
3	4	不明	1908	4	不明	口絵	彼我の特性	葉山薫次郎	43		
3	4	不明	1908	4	不明	口絵	日本地方民族心理	徳山豊之助	47		
3	4	不明	1908	4	不明	口絵	回々教の經典に就て	藤田季荘	50		
3	4	不明	1908	4	不明	口絵	佛教文学	常盤大定	56		
3	4	不明	1908	4	不明	口絵	天之御中主神に関する思想発達の一斑	加藤玄智	62		
3	4	不明	1908	4	不明	口絵	『言文一致』の取捨	岡澤鉦次郎	68		
3	4	不明	1908	4	不明	口絵	歌学者としての六人都是香	佐々木信綱	73		
3	4	不明	1908	4	不明	口絵	縦論横議	小林一郎	79		
3	4	不明	1908	4	不明	口絵	トルストイ伯の沙翁論に就て	松浦一	87		
3	4	不明	1908	4	不明	口絵	自然主義を覆す	高瀬武次郎	93		
3	4	不明	1908	4	不明	想華	牛乳の屠蘇	淺野馮慮	99		
3	4	不明	1908	4	不明	想華	多感の一日	長江雪	104		
3	4	不明	1908	4	不明	想華	芋屋	山崎藻花	108		
3	4	不明	1908	4	不明	想華	時のうれひ	折竹夢峰	116		
3	4	不明	1908	4	不明	想華	海底電線	小林愛雄	119		
3	4	不明	1908	4	不明	想華	漢詩二首	市村龍次郎	120		
3	4	不明	1908	4	不明	想華	漢詩三首	龜谷聖聲	120		
3	4	不明	1908	4	不明	雑俎	三月の劇壇	田中水調子	121		
3	4	不明	1908	4	不明	雑俎	国語研究参考用書目	保科考一	124		
3	4	不明	1908	4	不明	雑俎	イブセンの著作目録	葉山薫次郎	126		

3	4	不明	1908	4	不明	雑俎	文学博士佐藤誠実君小伝	松本愛重	127
3	4	不明	1908	4	不明	雑俎	文学博士那珂通世君小伝	白鳥庫吉	128
3	4	不明	1908	4	不明	叢報			129
3	4	不明	1908	4	不明	新刊紹介			135
3	5	不明	1908	5	不明	口絵	口繪(イエス晚餐の畫)		
3	5	不明	1908	5	不明	口絵	理想の消息(其一)	井上哲次郎	1
3	5	不明	1908	5	不明	口絵	神道の話	久米邦武	8
3	5	不明	1908	5	不明	口絵	豊太閤征韓役の一原因に就て	瀨川秀雄	21
3	5	不明	1908	5	不明	口絵	北澤学士の批評に於て予が人格的唯心論の根本義を明かにす	吉田静致	33
3	5	不明	1908	5	不明	口絵	社会情調の意義	遠藤隆吉	44
3	5	不明	1908	5	不明	口絵	本能を利用せよ	福来友吉	47
3	5	不明	1908	5	不明	口絵	所謂自然主義の作品を読む	吉田熊次	54
3	5	不明	1908	5	不明	口絵	自然主義の側面觀	樋口秀雄	64
3	5	不明	1908	5	不明	口絵	自然主義を駁す	高瀬武次郎	73
3	5	不明	1908	5	不明	口絵	トルストイ伯の沙翁論に就て	松浦一	82
3	5	不明	1908	5	不明	口絵	歌学者としての六人都是香	佐々木信綱	87
3	5	不明	1908	5	不明	想筆	癡	沼波瑠首	95
3	5	不明	1908	5	不明	想筆	起床	倉富砂郎	102
3	5	不明	1908	5	不明	想筆	シャンダウへの旅	葉山愛雄	108
3	5	不明	1908	5	不明	想筆	謡曲十番	白仁雪鳥	110
3	5	不明	1908	5	不明	想筆	花盗人	はじめ	112
3	5	不明	1908	5	不明	想筆	かるかやどうしん(英詩)	松浦一	115
3	5	不明	1908	5	不明	想筆	論詩(漢詩)	湯原元一	119
3	5	不明	1908	5	不明	想筆	漢詩二首	亀谷聖馨	120
3	5	不明	1908	5	不明	想筆	漢詩一首	渡邊國武	120
3	5	不明	1908	5	不明	雑俎	小学教師座右銘	井上哲次郎	121
3	5	不明	1908	5	不明	雑俎	国語研究の某	保科孝一	122
3	5	不明	1908	5	不明	雑俎	漢文研究書目	岡田正之	125
3	5	不明	1908	5	不明	雑俎	遲性(低能)児童教育成績	元良勇次郎	131
3	5	不明	1908	5	不明	雑俎	仏教研究参考書目	常盤大定	135
3	5	不明	1908	5	不明	叢報			139
3	5	不明	1908	5	不明	新刊紹介			144
3	6	不明	1908	6	不明	口絵	口繪(西洋の地獄)		
3	6	不明	1908	6	不明	口絵	日本人種の起源	坪井正五郎	1
3	6	不明	1908	6	不明	口絵	神道の話	久米邦武	16
3	6	不明	1908	6	不明	口絵	東亜の光と日本の光	原秀四郎	30
3	6	不明	1908	6	不明	口絵	本能を利用せよ	福来友吉	35
3	6	不明	1908	6	不明	口絵	吉田学士の人間的唯心論に就いて	北澤定吉	43
3	6	不明	1908	6	不明	口絵	論理学説	西田幾多郎	50
3	6	不明	1908	6	不明	口絵	邦人の表情	桑田芳蔵	60
3	6	不明	1908	6	不明	口絵	『言文一致』の取捨	岡澤鉦次郎	62
3	6	不明	1908	6	不明	口絵	仏教文学	常盤大定	71
3	6	不明	1908	6	不明	口絵	回々教の経典に就て	藤田季荘	78
3	6	不明	1908	6	不明	口絵	西歐文学に見はれたる道德的要素	森巻吉	84
3	6	不明	1908	6	不明	口絵	トルストイ伯の沙翁論に就て	松浦一	88
3	6	不明	1908	6	不明	口絵	縱論横議	小林一郎	94
3	6	不明	1908	6	不明	想筆	けふの日	尾上柴舟	101
3	6	不明	1908	6	不明	想筆	ほしくさ	廣瀬青波	102
3	6	不明	1908	6	不明	想筆	故郷	谷祐	106
3	6	不明	1908	6	不明	想筆	氷川の祠	小林千栄	112
3	6	不明	1908	6	不明	想筆	漢詩三首	亀谷聖馨	115
3	6	不明	1908	6	不明	想筆	漢詩一首	東久世道禎	115
3	6	不明	1908	6	不明	雑俎	教育学研究参考書目	田中義能	116
3	6	不明	1908	6	不明	雑俎	美術学校展覧会を観る	水島耕一郎	122
3	6	不明	1908	6	不明	雑俎	系統的西洋教育史をよむ	堀田相爾	124
3	6	不明	1908	6	不明	叢報			128
3	6	不明	1908	6	不明	新刊紹介			136
3	7	不明	1908	7	不明	口絵	口繪(最後裁判の畫)		
3	7	不明	1908	7	不明	口絵	日本人種の起源	坪井正五郎	1
3	7	不明	1908	7	不明	口絵	再び北澤学士に答えて人格的唯心論の根本義を説く	吉田静致	9
3	7	不明	1908	7	不明	口絵	論理学説	西田幾多郎	13
3	7	不明	1908	7	不明	口絵	蒙古の話	藤岡勝二	24
3	7	不明	1908	7	不明	口絵	伴天連の話	村上直次郎	31
3	7	不明	1908	7	不明	口絵	回々教の経典に就て	藤田季荘	40
3	7	不明	1908	7	不明	口絵	『言文一致』の取捨	岡澤鉦次郎	47
3	7	不明	1908	7	不明	口絵	清少納言の宮中奉仕年代	坂本三郎	58
3	7	不明	1908	7	不明	口絵	雅楽所に雅楽を拝観して	志田義秀	62
3	7	不明	1908	7	不明	口絵	トルストイ伯の沙翁論に就て	松浦一	70
3	7	不明	1908	7	不明	口絵	偶感二則	葉山萬次郎	77
3	7	不明	1908	7	不明	口絵	縱論横議	小林一郎	80
3	7	不明	1908	7	不明	想筆	寫生帖	渡瀬青波	89
3	7	不明	1908	7	不明	想筆	景德院	長紅雪	95
3	7	不明	1908	7	不明	想筆	古反古	小林花浪	96
3	7	不明	1908	7	不明	想筆	漢詩一首	高島平三郎	101
3	7	不明	1908	7	不明	想筆	漢詩三首	亀谷聖馨	101
3	7	不明	1908	7	不明	想筆	漢詩二首	田中光顕	101
3	7	不明	1908	7	不明	想筆	常夏	佐々木信綱	102
3	7	不明	1908	7	不明	雑俎	東洋歴史参考書目	高桑駒吉	103
3	7	不明	1908	7	不明	雑俎	七佛通誠偈	堀謙徳	107
3	7	不明	1908	7	不明	雑俎	神秘主義の復活	水島耕一郎	110
3	7	不明	1908	7	不明	叢報			115
3	7	不明	1908	7	不明	新刊紹介			120
3	8	不明	1908	8	不明	口絵	口繪(ルーテルとメランヒトン)		
3	8	不明	1908	8	不明	口絵	日本人種の起源	坪井正五郎	1
3	8	不明	1908	8	不明	口絵	蒙古の話	藤岡勝二	8
3	8	不明	1908	8	不明	口絵	国学者と帝国主義	保科孝一	16
3	8	不明	1908	8	不明	口絵	自然主義の社会的功過	樋口秀雄	23
3	8	不明	1908	8	不明	口絵	論理学説	西田幾多郎	33
3	8	不明	1908	8	不明	口絵	再び吉田学士の「人格的唯心論の根本義」を駁す	北澤定吉	41
3	8	不明	1908	8	不明	口絵	農業教育私見	村上辰午郎	50
3	8	不明	1908	8	不明	口絵	御幣擔の心理	大島正徳	55
3	8	不明	1908	8	不明	口絵	トルストイ伯の沙翁論に就て	松浦一	63
3	8	不明	1908	8	不明	口絵	縱論横議	小林一郎	70
3	8	不明	1908	8	不明	口絵	自殺論	遠藤隆吉	79
3	8	不明	1908	8	不明	想筆	蠅燭	折竹藁峯	84
3	8	不明	1908	8	不明	想筆	夜汽車	山崎藻花	85
3	8	不明	1908	8	不明	想筆	廢都	谷塔原	90
3	8	不明	1908	8	不明	想筆	涼夜	小林千栄	101
3	8	不明	1908	8	不明	想筆	蕨影を觀るの記	井上巽野	106
3	8	不明	1908	8	不明	雑俎	論理学(西洋の部)研究手引	深作安文	108
3	8	不明	1908	8	不明	雑俎	ニーチェの著作目録	葉山萬次郎	110
3	8	不明	1908	8	不明	雑俎	基督教信者の経験に就て	堀田相爾	111
3	8	不明	1908	8	不明	雑俎	井上博士への來信の一節	渡瀬義象	115
3	8	不明	1908	8	不明	雑俎	橋本左内全集に就て	有馬裕政	116

3	8	不明	1908	8	不明	彙報			118
3	8	不明	1908	8	不明	新刊紹介			123
3	9	不明	1908	9	不明	口繪	口繪(ルークレチア)		
3	9	不明	1908	9	不明	口繪	自然と不自然	松本文三郎	1
3	9	不明	1908	9	不明	口繪	倭寇の話	市村瓊次郎	14
3	9	不明	1908	9	不明	口繪	国学者と帝国主義	保科孝一	22
3	9	不明	1908	9	不明	口繪	日本民族の同化力	深作安文	33
3	9	不明	1908	9	不明	口繪	自然主義の社会的功過	樋口秀雄	40
3	9	不明	1908	9	不明	口繪	農業教育私見	村上辰午郎	55
3	9	不明	1908	9	不明	口繪	徳川氏季世の形式主義に就いて	小林庄次郎	60
3	9	不明	1908	9	不明	口繪	清少納言の家庭	森治蔵	71
3	9	不明	1908	9	不明	口繪	空論と実行(毒箭の喩)	常盤大定	78
3	9	不明	1908	9	不明	口繪	ベルシャ詩人	相場明次郎	82
3	9	不明	1908	9	不明	口繪	トルストイ伯の沙翁論に就て	松浦一	85
3	9	不明	1908	9	不明	口繪	縦論横議	小林一郎	92
3	9	不明	1908	9	不明	想筆	二老人	鈴木三重吉	99
3	9	不明	1908	9	不明	想筆	高樓	篠原水衣	107
3	9	不明	1908	9	不明	想筆	石だたみ	佐々木信綱	108
3	9	不明	1908	9	不明	想筆	黒人愛歌	小林愛雄	108
3	9	不明	1908	9	不明	想筆	漢詩二首	竹内松治	110
3	9	不明	1908	9	不明	想筆	漢詩三首	青木陶蔵	110
3	9	不明	1908	9	不明	想筆	碑銘	澤村胡堂	110
3	9	不明	1908	9	不明	雑俎	東洋歴史参考書目	高桑駒吉	111
3	9	不明	1908	9	不明	雑俎	井澤蟬龍子の逸話	池邊義象	113
3	9	不明	1908	9	不明	雑俎	杉雨氏の一生	葉山曼嶺	114
3	9	不明	1908	9	不明	雑俎	求職の鍵	木山熊次郎	118
3	9	不明	1908	9	不明	雑俎	硯滴集	浦谷甫水	125
3	9	不明	1908	9	不明	彙報			130
3	9	不明	1908	9	不明	新刊紹介			137
3	10	不明	1908	10	不明	口繪	口繪(パウルゼン)		
3	10	不明	1908	10	不明	口繪	日本人種の起源に就て	井上哲次郎	1
3	10	不明	1908	10	不明	口繪	鈍の一字	谷本富	16
3	10	不明	1908	10	不明	口繪	倭寇の話	市村瓊次郎	19
3	10	不明	1908	10	不明	口繪	暗示の話	福来友吉	24
3	10	不明	1908	10	不明	口繪	実験の信仰に就て	近角常観	32
3	10	不明	1908	10	不明	口繪	倫理及倫理学の社会的意義	徳谷豊之助	38
3	10	不明	1908	10	不明	口繪	表出と人相	桑田芳蔵	43
3	10	不明	1908	10	不明	口繪	忍耐概論	堀田相爾	46
3	10	不明	1908	10	不明	口繪	ベルシャ詩人	相場明次郎	50
3	10	不明	1908	10	不明	口繪	トルストイ伯の沙翁論に就て	松浦一	53
3	10	不明	1908	10	不明	口繪	現実生活の第一歩	太田黒作次郎	60
3	10	不明	1908	10	不明	口繪	縦論横議	小林一郎	67
3	10	不明	1908	10	不明	想筆	二老人	鈴木三重吉	72
3	10	不明	1908	10	不明	想筆	戯曲故郷	藤澤古雪	83
3	10	不明	1908	10	不明	想筆	監督者	中村枯林	88
3	10	不明	1908	10	不明	想筆	瞳の海	折竹蓼峯	92
3	10	不明	1908	10	不明	想筆	朝の讃歌	鈴木松江	93
3	10	不明	1908	10	不明	想筆	漢詩五首	湯原易水	94
3	10	不明	1908	10	不明	想筆	漢詩一首	塩谷温	94
3	10	不明	1908	10	不明	想筆	英詩三章	野口米次郎	95
3	10	不明	1908	10	不明	雑俎	試験の際に注意すべき要點十一カ条		97
3	10	不明	1908	10	不明	雑俎	西洋歴史研究参考書目	瀬川秀雄	98
3	10	不明	1908	10	不明	雑俎	漫語二則	平田禎太	101
3	10	不明	1908	10	不明	雑俎	求職の鍵	木山熊次郎	102
3	10	不明	1908	10	不明	彙報			109
3	10	不明	1908	10	不明	新刊紹介			120
3	11	不明	1908	11	不明	口繪	口繪(平和の書)		
3	11	不明	1908	11	不明	口繪	日韓満蒙語の研究に就きて	金澤庄三郎	1
3	11	不明	1908	11	不明	口繪	暗示の話	福来友吉	15
3	11	不明	1908	11	不明	口繪	実験の信仰に就て	近角常観	22
3	11	不明	1908	11	不明	口繪	教育の目的に就いて	田中義能	28
3	11	不明	1908	11	不明	口繪	老師の根本義	手塚光貴	35
3	11	不明	1908	11	不明	口繪	ベルシャ詩人	相場明次郎	41
3	11	不明	1908	11	不明	口繪	長寿健康について	杉谷泰山	47
3	11	不明	1908	11	不明	口繪	美的陶冶の大本を論ず	堀田相爾	51
3	11	不明	1908	11	不明	口繪	トルストイ伯の沙翁論に就て	松浦一	54
3	11	不明	1908	11	不明	口繪	更に目を転ぜよ	太田黒作次郎	61
3	11	不明	1908	11	不明	口繪	縦論横議	小林一郎	67
3	11	不明	1908	11	不明	想筆	名聲	沼波瑠音	72
3	11	不明	1908	11	不明	想筆	良婢	青木吉汀	80
3	11	不明	1908	11	不明	想筆	新宿の終点まで	大塚楠緒子	85
3	11	不明	1908	11	不明	想筆	瞻望	内藤水壁	87
3	11	不明	1908	11	不明	想筆	一題五句	大谷鏡石	89
3	11	不明	1908	11	不明	想筆	鳥城雑吟	志田素琴	89
3	11	不明	1908	11	不明	想筆	漢詩	尾原亮太郎	90
3	11	不明	1908	11	不明	雑俎	日本歴史研究参考書目及解題畧	原秀四朗	91
3	11	不明	1908	11	不明	雑俎	朝鮮史の参考書目に就て	幣原坦	98
3	11	不明	1908	11	不明	雑俎	欧米巡遊所感	川田鐵彌	100
3	11	不明	1908	11	不明	雑俎	予が神道に對する管見	外崎鏡	105
3	11	不明	1908	11	不明	雑俎	近事寸評	あまのや	111
3	11	不明	1908	11	不明	彙報			115
3	11	不明	1908	11	不明	新刊紹介			124
3	12	不明	1908	12	不明	口繪	口繪(ヘルメス)		
3	12	不明	1908	12	不明	口繪	假名遣改正懐古	保科孝一	1
3	12	不明	1908	12	不明	口繪	原始神道に於ける神観の特性	加藤玄智	11
3	12	不明	1908	12	不明	口繪	独乙人の脳裏に描かれざる日本人	吉田熊次	16
3	12	不明	1908	12	不明	口繪	思想界の淘汰	三輪田元道	26
3	12	不明	1908	12	不明	口繪	自殺論	遠藤隆吉	30
3	12	不明	1908	12	不明	口繪	習慣的道德の価値	北澤定吉	38
3	12	不明	1908	12	不明	口繪	縦論横議	小林一郎	46
3	12	不明	1908	12	不明	口繪	外柔内剛主義とは何ぞや	太田黒作次郎	53
3	12	不明	1908	12	不明	口繪	ベルシャ詩人	相場明次郎	57
3	12	不明	1908	12	不明	口繪	トルストイ伯の沙翁論に就て	松浦一	63
3	12	不明	1908	12	不明	想筆	十三弦	長谷川しぐれ	70
3	12	不明	1908	12	不明	想筆	良婢	青木吉汀	72
3	12	不明	1908	12	不明	想筆	彼岸	露女	80
3	12	不明	1908	12	不明	想筆	法のゆふべ	折竹蓼峯	84
3	12	不明	1908	12	不明	想筆	わが秋	松本勤太郎	85
3	12	不明	1908	12	不明	想筆	漢詩二首	手塚心齋	86
3	12	不明	1908	12	不明	想筆	漢詩一首	小杉復堂	86
3	12	不明	1908	12	不明	雑俎	日本歴史研究参考書目及解題畧	原秀四朗	87
3	12	不明	1908	12	不明	雑俎	朱舜水の教訓	深作安文	95
3	12	不明	1908	12	不明	雑俎	耶蘇の出生地に關する預言	藤田季莊	102
3	12	不明	1908	12	不明	雑俎	国民百科事典の発刊に就いて	鈴木周作	109
3	12	不明	1908	12	不明	雑俎	文改危言に就て	堀田相爾	111

3	12	不明	1908	12	不明	彙報			113	
3	12	不明	1908	12	不明	新刊紹介				118
4	1	不明	1909	1	不明	口絵	口繪(マグダ・レン)			
4	1	不明	1909	1	不明	口絵	道徳上の因果法	井上哲次郎	1	
4	1	不明	1909	1	不明	口絵	教育と実利	吉田静致	10	
4	1	不明	1909	1	不明	口絵	人生とは何ぞや	藤井健治郎	19	
4	1	不明	1909	1	不明	口絵	欧米見聞談	上田敏	41	
4	1	不明	1909	1	不明	口絵	ペスタロッターと隠者の夕暮	乙武岩造	56	
4	1	不明	1909	1	不明	口絵	日本地方民族心理研究の着眼点	徳谷豊之助	65	
4	1	不明	1909	1	不明	口絵	顔面の表出に就いて	瀧村斐男	70	
4	1	不明	1909	1	不明	口絵	ペルシヤ詩人	相場明次郎	76	
4	1	不明	1909	1	不明	口絵	学者と英雄	太田黒作次郎	83	
4	1	不明	1909	1	不明	口絵	一事一言	小林一郎	91	
4	1	不明	1909	1	不明	想筆	閑窓小記	幸田露伴	97	
4	1	不明	1909	1	不明	想筆	鐵線唐草	青木苦汀	101	
4	1	不明	1909	1	不明	想筆	一日	長谷川しぐれ	109	
4	1	不明	1909	1	不明	想筆	底の玉藻	露女	112	
4	1	不明	1909	1	不明	想筆	嘆	高濱長江	122	
4	1	不明	1909	1	不明	想筆	ちぎり雲	同人	122	
4	1	不明	1909	1	不明	想筆	霧日	澤村夷	123	
4	1	不明	1909	1	不明	想筆	英譯佛説和歌	松浦一	124	
4	1	不明	1909	1	不明	想筆	貝柱	志田素琴	126	
4	1	不明	1909	1	不明	想筆	竹柏園雜詠	佐々木信綱	127	
4	1	不明	1909	1	不明	雑俎	戊申詔書に就いて	井上哲次郎	128	
4	1	不明	1909	1	不明	雑俎	佛教の開會思想	常盤大定	132	
4	1	不明	1909	1	不明	雑俎	心学教の著作及び其解題	白石正邦	140	
4	1	不明	1909	1	不明	雑俎	本邦音楽史の一疑問	富尾木知佳	144	
4	1	不明	1909	1	不明	雑俎	近世日本女教史眼	須藤求馬	146	
4	1	不明	1909	1	不明	雑俎	学生修養時間割	堀田相爾	150	
4	1	不明	1909	1	不明	彙報			150	
4	1	不明	1909	1	不明	新刊紹介				154
4	2	不明	1909	2	不明	口絵	口繪(春)			
4	2	不明	1909	2	不明	口絵	吾の目に映する孔夫子	島田三郎	1	
4	2	不明	1909	2	不明	口絵	假名遣改正懐古	保科孝一	28	
4	2	不明	1909	2	不明	口絵	ペスタロッターと隠者の夕暮	乙武岩造	36	
4	2	不明	1909	2	不明	口絵	模倣と創意	速水滉	43	
4	2	不明	1909	2	不明	口絵	理論的大乘仏教の発達に就いて	萩原雲来	47	
4	2	不明	1909	2	不明	口絵	発奮に就いて	堀田相爾	55	
4	2	不明	1909	2	不明	口絵	日本古伝の波斯的要素に就いて	補永茂助	59	
4	2	不明	1909	2	不明	口絵	一事一言	小林一郎	66	
4	2	不明	1909	2	不明	想筆	宵	尾上柴舟	72	
4	2	不明	1909	2	不明	想筆	鐵線唐草	青木苦汀	74	
4	2	不明	1909	2	不明	想筆	点滴	中村枯林	79	
4	2	不明	1909	2	不明	想筆	花屋根	格泉	81	
4	2	不明	1909	2	不明	想筆	つき雲	甲野露女	82	
4	2	不明	1909	2	不明	想筆	漢詩	高島平三郎	87	
4	2	不明	1909	2	不明	想筆	漢詩	有馬祐政	88	
4	2	不明	1909	2	不明	雑俎	再び朝鮮史の参考書目に就いて	幣原坦	89	
4	2	不明	1909	2	不明	雑俎	心学教の著作及び其解題	白石正邦	92	
4	2	不明	1909	2	不明	雑俎	余が觀たる耶蘇降誕祭	野田義夫	95	
4	2	不明	1909	2	不明	雑俎	奥州の庭鳥権現	吉田東伍	102	
4	2	不明	1909	2	不明	雑俎	基督教經典原文及び釈文の比較研究一節	藤田季莊	108	
4	2	不明	1909	2	不明	雑俎	新年号瞥見記	葉山壘嶺	117	
4	2	不明	1909	2	不明	雑俎	弘法大師と幼時の感想	原秀四朗	121	
4	2	不明	1909	2	不明	彙報			126	
4	2	不明	1909	2	不明	新刊批評と紹介				130
4	3	不明	1909	3	不明	口絵	口繪(青陀羅)			
4	3	不明	1909	3	不明	口絵	道徳上の因果法	井上哲次郎	1	
4	3	不明	1909	3	不明	口絵	吾の目に映する孔夫子	島田三郎	9	
4	3	不明	1909	3	不明	口絵	客觀主義の主張	吉田熊次	24	
4	3	不明	1909	3	不明	口絵	理論的大乘仏教の発達に就て	萩原雲来	30	
4	3	不明	1909	3	不明	口絵	用例法に就て	紀平正義	38	
4	3	不明	1909	3	不明	口絵	更新の告白、国語問題の所見	国澤鉦次郎	47	
4	3	不明	1909	3	不明	口絵	社会現象としての犯罪	小林郁	53	
4	3	不明	1909	3	不明	口絵	道徳律の權威域	浦谷熊吉	57	
4	3	不明	1909	3	不明	口絵	耽溺と成功と信仰	堀田相爾	63	
4	3	不明	1909	3	不明	口絵	一事一言	小林一郎	66	
4	3	不明	1909	3	不明	口絵	我国原始時代及び有史以前のある期間に於ける文明形成の変遷を論ず	原秀四郎	73	
4	3	不明	1909	3	不明	想筆	明日	吉田白甲	82	
4	3	不明	1909	3	不明	想筆	森の神秘	諸星實一	87	
4	3	不明	1909	3	不明	想筆	心地	長谷川しぐれ	94	
4	3	不明	1909	3	不明	想筆	日記のうち	大塚楠緒子	97	
4	3	不明	1909	3	不明	想筆	日観録	志田素琴	98	
4	3	不明	1909	3	不明	想筆	籟	高濱長江	99	
4	3	不明	1909	3	不明	想筆	和歌	尾上柴舟選		記事なし
4	3	不明	1909	3	不明	想筆	俳句	大谷鏡石選		記事なし
4	3	不明	1909	3	不明	想筆	森	白鳥省吾	100	
4	3	不明	1909	3	不明	想筆	雪中松(英譯)	和田垣謙三	101	
4	3	不明	1909	3	不明	想筆	漢詩	井上圓了	105	
4	3	不明	1909	3	不明	想筆	漢詩	監谷温	105	
4	3	不明	1909	3	不明	想筆	漢詩	高島平三郎	106	
4	3	不明	1909	3	不明	想筆	鎌倉懐古	松島正一	106	
4	3	不明	1909	3	不明	雑俎	基督教研究書目に就て	三並良	107	
4	3	不明	1909	3	不明	雑俎	某文学士の中学校長として其任に赴くを送る	湯原元一	110	
4	3	不明	1909	3	不明	雑俎	余が觀たる耶蘇降誕祭	野田義夫	117	
4	3	不明	1909	3	不明	雑俎	佐久間象山を懐ふ	太田黒作次郎	121	
4	3	不明	1909	3	不明	雑俎	奥州の庭鳥権現	吉田東伍	129	
4	3	不明	1909	3	不明	雑俎	支那漫遊談	宇林愛雄	132	
4	3	不明	1909	3	不明	雑俎	喇嘛の舞蹈	鳥居きみ子	135	
4	3	不明	1909	3	不明	雑俎	偶感一則	宮地直一	139	
4	3	不明	1909	3	不明	彙報			142	
4	3	不明	1909	3	不明	新刊紹介と批評				146
4	4	不明	1909	4	不明	口絵	口繪(熱河行宮)			
4	4	不明	1909	4	不明	口絵	我国原始時代及び有史以前のある期間に於ける文明形式の変遷を論ず	原秀四郎	1	
4	4	不明	1909	4	不明	口絵	人格哲学雜感	朝永三十郎	19	
4	4	不明	1909	4	不明	口絵	用例法に就て	紀平正義	33	
4	4	不明	1909	4	不明	口絵	国民文化に現はれたる美的形式	垣内松三	42	
4	4	不明	1909	4	不明	口絵	原始神道に現はれたる初歩の自然的宗教の形跡	加藤玄智	47	
4	4	不明	1909	4	不明	口絵	更新の告白、国語問題の所見	国澤鉦次郎	54	
4	4	不明	1909	4	不明	口絵	農村の教育	村上辰午郎	62	

4	4	不明	1909	4	不明	口絵	正儒三格論	堀田相爾	73	
4	4	不明	1909	4	不明	口絵	一事一言	小林一郎	77	
4	4	不明	1909	4	不明	口絵	道徳上の因果法	井上哲次郎	84	
4	4	不明	1909	4	不明	想筆	海のをみな	森林太郎	93	
4	4	不明	1909	4	不明	想筆	ふる里	平田亮木	93	
4	4	不明	1909	4	不明	想筆	自然	吉田白甲	97	
4	4	不明	1909	4	不明	想筆	英詩三篇	野口米次郎	103	
4	4	不明	1909	4	不明	想筆	森の神秘	諸星真一	105	
4	4	不明	1909	4	不明	想筆	春季十五章	大谷鏡石	109	
4	4	不明	1909	4	不明	想筆	短歌	柴舟選	110	
4	4	不明	1909	4	不明	想筆	俳句	大谷鏡石選	112	
4	4	不明	1909	4	不明	雑俎	英文学研究書目	浅野和二郎	113	
4	4	不明	1909	4	不明	雑俎	ベルシャ詩人	相場明次郎	120	
4	4	不明	1909	4	不明	雑俎	佐久間象山を懐ふ	太田風作次郎	130	
4	4	不明	1909	4	不明	雑俎	余ば観たる耶穌降誕祭	野田義夫	138	
4	4	不明	1909	4	不明	雑俎	奥州の庭鳥権現	吉田東伍	144	
4	4	不明	1909	4	不明	雑俎	漫言	葉山萬次郎	147	
4	4	不明	1909	4	不明	彙報			149	
4	4	不明	1909	4	不明	新刊批評と紹介			155	
4	4	不明	1909	4	不明	口絵	口繪(孔夫人の像)			
4	5	不明	1909	5	不明	口絵	教界春秋		1	
4	5	不明	1909	5	不明	口絵	我国原始時代及び有史以前のある期間に於ける文明形成の変遷を論ず	原秀四朗	1	
4	5	不明	1909	5	不明	口絵	宗教の役目と其の勢力條件	福来友吉	20	
4	5	不明	1909	5	不明	口絵	女大学に就いて	下田次郎	30	
4	5	不明	1909	5	不明	口絵	原始神道に現はれたる初歩の自然的宗教の形跡	加藤玄智	37	
4	5	不明	1909	5	不明	口絵	農村の教育	村上辰午郎	44	
4	5	不明	1909	5	不明	口絵	神と人格	深作安文	53	
4	5	不明	1909	5	不明	口絵	更新の告白・国語問題の所見	岡澤紘次郎	61	
4	5	不明	1909	5	不明	口絵	教育学に就いて	田中義能	68	
4	5	不明	1909	5	不明	口絵	藝術の本質に関する諸説	乙骨三郎	74	
4	5	不明	1909	5	不明	口絵	藝術の表出	桑田芳蔵	79	
4	5	不明	1909	5	不明	口絵	社会の海洋的發展	堀田相爾	82	
4	5	不明	1909	5	不明	口絵	一事一言	小林一郎	84	
4	5	不明	1909	5	不明	想筆	追憶	森林太郎	90	
4	5	不明	1909	5	不明	想筆	魅	沼波瓊音	99	
4	5	不明	1909	5	不明	想筆	失物	青木蒼汀	101	
4	5	不明	1909	5	不明	想筆	森の神秘	諸星真一	105	
4	5	不明	1909	5	不明	想筆	印象録	志田素琴	110	
4	5	不明	1909	5	不明	想筆	英誌能谷蓮生坊	松浦一	111	
4	5	不明	1909	5	不明	想筆	若き日おもふ	高濱長江	114	
4	5	不明	1909	5	不明	想筆	短歌	尾上柴舟選	115	
4	5	不明	1909	5	不明	想筆	俳句	大谷鏡石選	117	
4	5	不明	1909	5	不明	雑俎	国文学の注釈書	芳賀矢一	118	
4	5	不明	1909	5	不明	雑俎	心理学研究書目	桑田芳蔵	121	
4	5	不明	1909	5	不明	雑俎	貝原益軒と松永尺五山崎齋木下順庵との関係	伊東尾四郎	122	
4	5	不明	1909	5	不明	雑俎	隆達の伝に就いて	吉丸一昌	130	
4	5	不明	1909	5	不明	雑俎	蒙古風俗一斑	鳥居龍蔵	136	
4	5	不明	1909	5	不明	雑俎	狐憑の観察	福来博士・西本正美	142	
4	5	不明	1909	5	不明	彙報			152	
4	5	不明	1909	5	不明	新刊批評と紹介			157	
4	6	不明	1909	6	不明	口絵	口繪(孟子の像)			
4	6	不明	1909	6	不明	口絵	教界春秋		1	名無し
4	6	不明	1909	6	不明	口絵	我国原始時代及び有史以前のある期間に於ける文明形成の変遷を論ず	原秀四朗	1	
4	6	不明	1909	6	不明	口絵	宗教の役目と其の勢力條件	福来友吉	18	
4	6	不明	1909	6	不明	口絵	女大学に就いて	下田次郎	33	
4	6	不明	1909	6	不明	口絵	原始神道に現はれたる初歩の自然的宗教の形跡	加藤玄智	41	
4	6	不明	1909	6	不明	口絵	Xの値	大島正徳	47	
4	6	不明	1909	6	不明	口絵	国民文化に現れたる美的形成	垣内松三	53	
4	6	不明	1909	6	不明	口絵	教育社会研究の必要	木山熊次郎	58	
4	6	不明	1909	6	不明	口絵	最初に力、次に仕事	太田黒作太郎	63	
4	6	不明	1909	6	不明	口絵	宗教的形式を教育に採用する件	堀田相爾	67	
4	6	不明	1909	6	不明	口絵	神代歌詞の表象的意味	補永茂助	69	
4	6	不明	1909	6	不明	口絵	一事一言	小林一郎	76	
4	6	不明	1909	6	不明	口絵	清国と新文明	服部宇之吉	84	
4	6	不明	1909	6	不明	想筆	石ばしら	平田亮木	88	
4	6	不明	1909	6	不明	想筆	黄沌	しぐれ	90	
4	6	不明	1909	6	不明	想筆	懺悔	水上夕波	94	
4	6	不明	1909	6	不明	想筆	鐘に聞く	小林愛雄	100	
4	6	不明	1909	6	不明	想筆	漢詩二首	有馬裕政	100	
4	6	不明	1909	6	不明	想筆	短歌	尾上柴舟選	101	
4	6	不明	1909	6	不明	想筆	春夏雑詠	大谷鏡石選	104	
4	6	不明	1909	6	不明	雑俎	菊桐御紋章の考証	松本愛重	105	
4	6	不明	1909	6	不明	雑俎	基督教經典研究と参考書目	藤田季荘	112	
4	6	不明	1909	6	不明	雑俎	学生の読物としての英文学書教種	松浦一	116	
4	6	不明	1909	6	不明	雑俎	奥州の庭鳥権現	吉丸一昌	118	
4	6	不明	1909	6	不明	短評	文芸小言(森の人)		127	
4	6	不明	1909	6	不明	短評	出版物と教育(木山生・龍山生)		129	
4	6	不明	1909	6	不明	短評	出版物と仏教(一人生)		131	
4	6	不明	1909	6	不明	短評	出版物と道徳(SO生・深作生)		136	
4	6	不明	1909	6	不明	彙報			137	
4	6	不明	1909	6	不明	新刊批評と紹介			145	
4	7	不明	1909	7	不明	口絵	口繪(神聖の森)			
4	7	不明	1909	7	不明	口絵	教界春秋		1	
4	7	不明	1909	7	不明	口絵	吾邦の倫理教育と基督教	加藤弘之	1	
4	7	不明	1909	7	不明	口絵	我徳育と精神主義	井上哲次郎	13	
4	7	不明	1909	7	不明	口絵	自我実現説の長短	吉田龍次	27	
4	7	不明	1909	7	不明	口絵	女性と思想史	三輪田元道	32	
4	7	不明	1909	7	不明	口絵	国語永遠の大計	岡澤紘次郎	37	
4	7	不明	1909	7	不明	口絵	国民文学に現れたる美的形成	垣内松三	49	
4	7	不明	1909	7	不明	口絵	Xの値	大島正徳	52	
4	7	不明	1909	7	不明	口絵	日本文学の社会心理学的性質	徳谷豊之助	58	
4	7	不明	1909	7	不明	口絵	古への智慧と今の知識	川島金五郎	65	
4	7	不明	1909	7	不明	口絵	意思教育の末梢的教育	堀田相爾	70	
4	7	不明	1909	7	不明	口絵	マルサツ説とダーキン説との交渉	生田鹿之丞	72	
4	7	不明	1909	7	不明	口絵	一事一言	小林一郎	76	
4	7	不明	1909	7	不明	想筆	弱者	吉田白甲	85	
4	7	不明	1909	7	不明	想筆	石ばしら	平田亮木	93	
4	7	不明	1909	7	不明	想筆	嘉美談話	志田素琴	100	
4	7	不明	1909	7	不明	想筆	夢の国	佐々木信綱	103	

4	7	不明	1909	7	不明	想華	短歌	尾上柴舟選	104
4	7	不明	1909	7	不明	想華	俳句	大谷鏡石選	107
4	7	不明	1909	7	不明	雑俎	当流比較言語学	森林太郎	109
4	7	不明	1909	7	不明	雑俎	菊桐御紋章の考証	松本愛重	116
4	7	不明	1909	7	不明	雑俎	類以菊の紋の発達	松村任三	118
4	7	不明	1909	7	不明	雑俎	学生の読物としての英文学書類	浅野和二郎	121
4	7	不明	1909	7	不明	雑俎	コンラード・フェルデナント・マイヤの小説	小池堅治	124
4	7	不明	1909	7	不明	雑俎	東禪寺事件	本多辰次郎	127
4	7	不明	1909	7	不明	雑俎	基督教經典研究と参考書目	藤田季廷	130
4	7	不明	1909	7	不明	雑俎	蒙古風俗一斑	鳥居龍藏	135
4	7	不明	1909	7	不明	雑俎	如何に暑中休暇を送るべきか	紀平・松浦・一人生・有馬・天空海潤・下田	138
4	7	不明	1909	7	不明	短評	短評一束(眞嶺子)・文界雜感(風骨坊)・硯滴集(甫水生)		144
4	7	不明	1909	7	不明	彙報			148
4	7	不明	1909	7	不明	新刊批評と紹介			158
4	8	不明	1909	8	不明	口繪	口繪(誌と書。ベック)		
4	8	不明	1909	8	不明	口繪	教界春秋		1
4	8	不明	1909	8	不明	口繪	我徳育と精神主義	井上哲次郎	1
4	8	不明	1909	8	不明	口繪	新刑法に就いて	富井政章	20
4	8	不明	1909	8	不明	口繪	古代神道の重なる式	久米邦武	25
4	8	不明	1909	8	不明	口繪	日本学及び其の研究法	有賀長雄	34
4	8	不明	1909	8	不明	口繪	巖島神社と其の崇拜	加藤玄智	42
4	8	不明	1909	8	不明	口繪	中等教育における漢文の地位を論じて其教授法に及び併せて文部省に望む	小柳司氣太	47
4	8	不明	1909	8	不明	口繪	枕詞研究に対する私見	櫻尾治	62
4	8	不明	1909	8	不明	口繪	テロル氏の日本觀を論じて吾国現代の二大弊風に及ぶ	山内雄太郎	69
4	8	不明	1909	8	不明	口繪	棒の教育	堀田相爾	74
4	8	不明	1909	8	不明	口繪	一事一言	小林一郎	79
4	8	不明	1909	8	不明	想華	十七八	鈴木三重吉	87
4	8	不明	1909	8	不明	想華	父と子	山崎藻花	91
4	8	不明	1909	8	不明	想華	共鳴	青木吉汀	99
4	8	不明	1909	8	不明	想華	弱者	吉田白甲	104
4	8	不明	1909	8	不明	想華	英詩三篇	野口米次郎	112
4	8	不明	1909	8	不明	想華	短歌	尾上柴舟選	114
4	8	不明	1909	8	不明	想華	俳句	大谷鏡石選	117
4	8	不明	1909	8	不明	雑俎	陽明学研究書目	高瀬武次郎	118
4	8	不明	1909	8	不明	雑俎	心学教の著作及び其解題	白石正邦	119
4	8	不明	1909	8	不明	雑俎	菊桐御紋章の考証	松本愛重	122
4	8	不明	1909	8	不明	雑俎	擬働体操に就いて	嘉納治五郎	126
4	8	不明	1909	8	不明	雑俎	蒙古風俗一斑	鳥居龍藏	131
4	8	不明	1909	8	不明	雑俎	東禪寺事件	本多辰次郎	135
4	8	不明	1909	8	不明	彙報			138
4	8	不明	1909	8	不明	新刊批評と紹介			153
4	9	不明	1909	9	不明	口繪	口繪(東亜協界第一回夏季講習会々員写真)		
4	9	不明	1909	9	不明	口繪	教界春秋		1
4	9	不明	1909	9	不明	口繪	体質論を唱ふる所以	大澤謙二	1
4	9	不明	1909	9	不明	口繪	新刑法に就いて	富井政章	11
4	9	不明	1909	9	不明	口繪	日本学及び其の研究法	有賀長雄	17
4	9	不明	1909	9	不明	口繪	古代神道の重なる式	久米邦武	28
4	9	不明	1909	9	不明	口繪	古語拾遺に就いて	田中義能	40
4	9	不明	1909	9	不明	口繪	哲学は果たして無内容の学か	北澤定吉	43
4	9	不明	1909	9	不明	口繪	テロル氏の日本觀を論じて吾国現代の二大弊風に及ぶ	山内雄太郎	52
4	9	不明	1909	9	不明	口繪	新案家庭組合	堀田相爾	57
4	9	不明	1909	9	不明	口繪	説文より入りて説文を超脱すべし	後藤朝太郎	60
4	9	不明	1909	9	不明	口繪	教育不振の原因	島本愛之助	64
4	9	不明	1909	9	不明	口繪	メレジスの思想	若杉保治	71
4	9	不明	1909	9	不明	口繪	一事一言	小林一郎	74
4	9	不明	1909	9	不明	想華	團子坂	森林太郎	82
4	9	不明	1909	9	不明	想華	夏の日	長谷川しぐれ	88
4	9	不明	1909	9	不明	想華	敗残	松浦乳草	91
4	9	不明	1909	9	不明	想華	社	高濱長江	99
4	9	不明	1909	9	不明	想華	短歌	尾上柴舟選	102
4	9	不明	1909	9	不明	想華	俳句	大谷鏡石選	105
4	9	不明	1909	9	不明	想華	漢詩	市村環次郎・杉浦重剛・井上圓了	105
4	9	不明	1909	9	不明	想華	英詩	松浦一	106
4	9	不明	1909	9	不明	雑俎	徳川時代の小説書類	幸田露伴	107
4	9	不明	1909	9	不明	雑俎	歌学上の小発見	佐々木信綱	109
4	9	不明	1909	9	不明	雑俎	ジョンソン博士誕生二百年	太田善男	111
4	9	不明	1909	9	不明	雑俎	漢語と日本語	松村任三	115
4	9	不明	1909	9	不明	雑俎	菊桐御紋章の考証	松本愛重	119
4	9	不明	1909	9	不明	短評	近來の大教訓	深作生	124
4	9	不明	1909	9	不明	短評	教界寸評	一人生	125
4	9	不明	1909	9	不明	短評	銷夏漫録	眞嶺子	127
4	9	不明	1909	9	不明	短評	最近雜感	濠谷生	128
4	9	不明	1909	9	不明	短評	硯滴集	甫水生	130
4	9	不明	1909	9	不明	彙報			131
4	9	不明	1909	9	不明	新刊批評と紹介			139
4	10	不明	1909	10	不明	口繪	口繪(マドンナ)		
4	10	不明	1909	10	不明	口繪	教界春秋		1
4	10	不明	1909	10	不明	口繪	体質論を唱ふる所以	大澤謙二	1
4	10	不明	1909	10	不明	口繪	真諦語に就いて	高桑駒吉	11
4	10	不明	1909	10	不明	口繪	意志の教育	杉谷泰山	19
4	10	不明	1909	10	不明	口繪	墨子を誦む	北澤定吉	22
4	10	不明	1909	10	不明	口繪	國語永遠の大計	徳谷豊之助	41
4	10	不明	1909	10	不明	口繪	國民文化に現れたる美的形式	垣内松三	50
4	10	不明	1909	10	不明	口繪	人國記の社会心理学的価値	徳谷豊之助	53
4	10	不明	1909	10	不明	口繪	メレジスの思想	若杉保治	59
4	10	不明	1909	10	不明	口繪	避暑亡國論	高橋正熊	68
4	10	不明	1909	10	不明	口繪	妻に就いて	堀田相爾	75
4	10	不明	1909	10	不明	想華	秋夜	幸田露伴	78
4	10	不明	1909	10	不明	想華	夏の朝	大塚楠緒子	82
4	10	不明	1909	10	不明	想華	M……君	青木吉汀	88
4	10	不明	1909	10	不明	想華	敗残	松浦乳草	93
4	10	不明	1909	10	不明	想華	梅の花	南木子	97
4	10	不明	1909	10	不明	想華	昔の友	伊東英子	103
4	10	不明	1909	10	不明	想華	英詩三篇	野口米次郎	108
4	10	不明	1909	10	不明	想華	かし鳥	佐々木信綱	110
4	10	不明	1909	10	不明	想華	短歌	尾上柴舟選	111
4	10	不明	1909	10	不明	想華	俳句	大谷鏡石選	115

4	10	不明	1909	10	不明	想華	漢詩	高瀬武次郎・井上圓了・亀谷聖聲・小林道彦	116
4	10	不明	1909	10	不明	雑俎	日本地理研究書目	原秀四郎	117
4	10	不明	1909	10	不明	雑俎	社会学研究の参考書	遠藤隆吉	124
4	10	不明	1909	10	不明	雑俎	コンラード・フェルデナント・マイヤの小説	小池堅治	125
4	10	不明	1909	10	不明	雑俎	ジョンソン博士誕生二百年	太田善男	132
4	10	不明	1909	10	不明	雑俎	『漢文大系』の発行に就て	天心生	136
4	10	不明	1909	10	不明	雑俎	現代と『新婦人』	葉山島嶺	138
4	10	不明	1909	10	不明	短評	教界寸評(一人生)最近雑感(澁谷生)(森の人)		142
4	10	不明	1909	10	不明	彙報			149
4	10	不明	1909	10	不明	新刊批評と紹介			156
4	11	不明	1909	11	不明	口絵	口繪(宮本武蔵)		
4	11	不明	1909	11	不明	口絵	教界春秋		1
4	11	不明	1909	11	不明	口絵	遺伝と教育に就いて	元良勇次郎	1
4	11	不明	1909	11	不明	口絵	阿弥陀仏	高橋順次郎	22
4	11	不明	1909	11	不明	口絵	体質論を唱ふる所以	大澤謙二	32
4	11	不明	1909	11	不明	口絵	崑崙語に就いて	高桑駒吉	38
4	11	不明	1909	11	不明	口絵	国の秋	小林郁	48
4	11	不明	1909	11	不明	口絵	教育界と人材問題との一方面	本山熊次郎	50
4	11	不明	1909	11	不明	口絵	メレシスの思想	若月保治	54
4	11	不明	1909	11	不明	口絵	学問の分類と教育学の地位	堀田相爾	62
4	11	不明	1909	11	不明	口絵	琉球人の祖先に就いて	井波普猷	66
4	11	不明	1909	11	不明	口絵	一事一言	小林一郎	71
4	11	不明	1909	11	不明	想華	餘燼	吉田白甲	79
4	11	不明	1909	11	不明	想華	睡気	山崎藻花	96
4	11	不明	1909	11	不明	想華	闘争	澁谷淺香	105
4	11	不明	1909	11	不明	想華	朝の慄意	高濱長江	109
4	11	不明	1909	11	不明	想華	英詩三章	松浦一	110
4	11	不明	1909	11	不明	想華	短歌	尾上柴舟選	111
4	11	不明	1909	11	不明	想華	俳句	志田素琴選	114
4	11	不明	1909	11	不明	雑俎	日本地理研究書目	原秀四郎	115
4	11	不明	1909	11	不明	雑俎	英語研究書目	森泰吉	119
4	11	不明	1909	11	不明	雑俎	実験心理学に就いて	格泉生	123
4	11	不明	1909	11	不明	雑俎	コンラード・フェルデナント・マイヤの小説	小池堅治	125
4	11	不明	1909	11	不明	雑俎	大監中斎の性格につきて	山内雄太郎	134
4	11	不明	1909	11	不明	短評	文学小言(森の人)・公設展覧会を見る(青戸)・最近雑感(澁谷生)		138
4	11	不明	1909	11	不明	新刊批評と紹介			148
4	12	不明	1909	12	不明	口絵	口繪(ゲーテ・シルレル・レッシング)		
4	12	不明	1909	12	不明	口絵	教界春秋		1
4	12	不明	1909	12	不明	口絵	東西文明の兩主義	井上圓了	1
4	12	不明	1909	12	不明	口絵	阿弥陀仏	高橋順次郎	8
4	12	不明	1909	12	不明	口絵	善書に就て	服部宇之吉	14
4	12	不明	1909	12	不明	口絵	江戸言葉に就て	保科孝一	30
4	12	不明	1909	12	不明	口絵	死と道德的評價	深作安文	39
4	12	不明	1909	12	不明	口絵	儒教の解釈法と女性	三輪田元道	43
4	12	不明	1909	12	不明	口絵	琉球人の祖先に就て	井波普猷	49
4	12	不明	1909	12	不明	口絵	一事一言	小林一郎	66
4	12	不明	1909	12	不明	想華	新妻紹介	和田稲村	75
4	12	不明	1909	12	不明	想華	女の勝利	澁谷淺香	83
4	12	不明	1909	12	不明	想華	西へ西への記	太田星夕陽子	90
4	12	不明	1909	12	不明	想華	イブセンの誌	田波御白	98
4	12	不明	1909	12	不明	想華	童謡	松浦一	99
4	12	不明	1909	12	不明	想華	短歌	尾上柴舟選	101
4	12	不明	1909	12	不明	想華	俳句	志田素琴選	104
4	12	不明	1909	12	不明	雑俎	ツルゲーネフと時代	八杉貞利	105
4	12	不明	1909	12	不明	雑俎	農村青年と徳育	村上辰午郎	112
4	12	不明	1909	12	不明	雑俎	閑雅幽静の樂	青木昌吉	118
4	12	不明	1909	12	不明	雑俎	教師に就て	堀田相爾	122
4	12	不明	1909	12	不明	雑俎	吾人生活の中心核子	浦谷甫水	127
4	12	不明	1909	12	不明	雑俎	近世女学士伝	須藤求馬	129
4	12	不明	1909	12	不明	雑俎	マクス・ミュラー文庫図書解題	堀謙徳	132
4	12	不明	1909	12	不明	雑俎	遠藤博士の著書東洋倫理学を読む	S.T.	135
4	12	不明	1909	12	不明	短評	進取録数片(木山)・最近雑感(澁谷生)		137
4	12	不明	1909	12	不明	彙報			142
4	12	不明	1909	12	不明	新刊批評と紹介			148
5	1	不明	1910	1	不明	口絵	口繪(クリオ)		
5	1	不明	1910	1	不明	口絵	教界春秋		1
5	1	不明	1910	1	不明	口絵	我邦宗教の将来	井上哲次郎	1
5	1	不明	1910	1	不明	口絵	鳥見山童時について古神道を論ず	久米邦武	18
5	1	不明	1910	1	不明	口絵	文明思潮を描ける文学	島村瀧太郎	40
5	1	不明	1910	1	不明	口絵	国家存立の理	三宅雄二郎	60
5	1	不明	1910	1	不明	想華	電車の窓	森嶋外	71
5	1	不明	1910	1	不明	想華	病院からさうして病院へ	鈴木三重吉	81
5	1	不明	1910	1	不明	想華	春寒	山崎藻花	86
5	1	不明	1910	1	不明	想華	不安	長谷川時雨	96
5	1	不明	1910	1	不明	想華	山問答	吉田白甲	100
5	1	不明	1910	1	不明	想華	霜夜	青木苦汀	106
5	1	不明	1910	1	不明	想華	客	高濱長江	117
5	1	不明	1910	1	不明	想華	元旦	松浦一	118
5	1	不明	1910	1	不明	想華	暖炉	尾上柴舟	119
5	1	不明	1910	1	不明	想華	長夜	鴻臚盛廣	120
5	1	不明	1910	1	不明	想華	短歌	尾上柴舟選	121
5	1	不明	1910	1	不明	想華	俳句	志田素琴選	124
5	1	不明	1910	1	不明	思潮	新古今集私見	佐々木信綱	125
5	1	不明	1910	1	不明	思潮	江戸言葉に就て	保科孝一	127
5	1	不明	1910	1	不明	思潮	マクス・ミュラー文庫図書解題	堀謙徳	133
5	1	不明	1910	1	不明	思潮	確信の道德的価値	吉田熊次	134
5	1	不明	1910	1	不明	思潮	農村青年と徳育	村上辰午郎	138
5	1	不明	1910	1	不明	思潮	漢文学習の主眼	有馬祐政	142
5	1	不明	1910	1	不明	思潮	日本ユニテリアン主義確論	廣井辰太郎	146
5	1	不明	1910	1	不明	思潮	『平田篤胤の哲学』を読む	補永茂助	152
5	1	不明	1910	1	不明	思潮	藤原令泉氏の明治教育思想史を読む	堀田相爾	157
5	1	不明	1910	1	不明	思潮	生活の真意義	浦谷甫水	161
5	1	不明	1910	1	不明	思潮	沙翁劇の翻訳について	堀内雄蔵	165
5	1	不明	1910	1	不明	時評	年頭回顧		170
5	1	不明	1910	1	不明	彙報			191
5	1	不明	1910	1	不明	新刊批評と紹介			193

5	2	不明	1910	2	不明	口絵	口繪(聖徳太子)			
5	2	不明	1910	2	不明	口絵	教界春秋			1
5	2	不明	1910	2	不明	口絵	性的問題	石川千代松		1
5	2	不明	1910	2	不明	口絵	絶対論と人格的唯心論及び認識問題	紀平正美		26
5	2	不明	1910	2	不明	口絵	考古学と古代史	喜田貞吉		46
5	2	不明	1910	2	不明	想筆	行きたる児	大塚楠緒子		62
5	2	不明	1910	2	不明	想筆	波の独白	小林愛雄		71
5	2	不明	1910	2	不明	想筆	商売往来	上野白柑子		75
5	2	不明	1910	2	不明	想筆	割引電車	松浦		84
5	2	不明	1910	2	不明	想筆	明日	澤村胡夷		85
5	2	不明	1910	2	不明	想筆	漢詩一首	高島平三郎		86
5	2	不明	1910	2	不明	想筆	漢詩三首	有馬裕政		86
5	2	不明	1910	2	不明	想筆	漢文一章	大江文城		86
5	2	不明	1910	2	不明	想筆	男性	千葉茂		87
5	2	不明	1910	2	不明	想筆	短歌	尾上柴舟選		88
5	2	不明	1910	2	不明	想筆	俳句	志田素琴選		92
5	2	不明	1910	2	不明	思潮	阿弥陀如来に就いて	ロイド		94
5	2	不明	1910	2	不明	思潮	流行の意義性質及伝播	藤井健治郎		97
5	2	不明	1910	2	不明	思潮	獣首人身の石像に就て	鷺尾順敬		115
5	2	不明	1910	2	不明	思潮	日本ユニテリアン主義確論	廣井辰太郎		118
5	2	不明	1910	2	不明	思潮	高橋博士の阿弥陀仏を読む	常盤大定		125
5	2	不明	1910	2	不明	思潮	人生問題四	浦谷雨水		130
5	2	不明	1910	2	不明	思潮	欧米最近の思潮	川田鐵潮		135
5	2	不明	1910	2	不明	思潮	新年号における宗教及び国家問題	葉山尋嶺		138
5	2	不明	1910	2	不明	思潮	清新の夏と清新の冬	大井徹翁		142
5	2	不明	1910	2	不明	思潮	教育者の人格	高木武		145
5	2	不明	1910	2	不明	思潮	神学研究書目	大内青巖		151
5	2	不明	1910	2	不明	時評	人類の将来について(丘博士に質す)	水島耕一郎		156
5	2	不明	1910	2	不明	時評	断片録	一人生		166
5	2	不明	1910	2	不明	時評	基督教新解を読まずして	堀田相爾		167
5	2	不明	1910	2	不明	時評	新年の小説	■■■■		169
5	2	不明	1910	2	不明	彙報				179
5	2	不明	1910	2	不明	新刊紹介と批評				185
5	3	不明	1910	3	不明	口絵	口繪(騎龍観音)			
5	3	不明	1910	3	不明	口絵	教界春秋			1
5	3	不明	1910	3	不明	口絵	大日本史の編纂に就いて	三上参次		1
5	3	不明	1910	3	不明	口絵	言語の上より観たる鏡と剣	松村任三		11
5	3	不明	1910	3	不明	口絵	考古学と古代史	喜田貞吉		38
5	3	不明	1910	3	不明	想筆	仔馬	吉田白甲		56
5	3	不明	1910	3	不明	想筆	野里の堤	山崎薫花		61
5	3	不明	1910	3	不明	想筆	母の病	和田福村		67
5	3	不明	1910	3	不明	想筆	二十年前	坂元雪鳥		71
5	3	不明	1910	3	不明	想筆	そんなのやうな男	渋谷淺香		73
5	3	不明	1910	3	不明	想筆	疑ひの鬼	鴻巣盛廣		80
5	3	不明	1910	3	不明	想筆	短歌	尾上柴舟選		81
5	3	不明	1910	3	不明	想筆	俳句	志田素琴選		83
5	3	不明	1910	3	不明	想筆	漢文	青木倉蔵		85
5	3	不明	1910	3	不明	思潮	平安時代の短歌に現はれたる懸詞の研究	尾上八郎		86
5	3	不明	1910	3	不明	思潮	論語に現はれたる社会心理	徳谷豊之助		95
5	3	不明	1910	3	不明	思潮	遺伝と教育との関係	阿部文夫		100
5	3	不明	1910	3	不明	思潮	度界延佳に就いて	田中義能		113
5	3	不明	1910	3	不明	思潮	かく聲へる国民	志田義秀		120
5	3	不明	1910	3	不明	思潮	款本ハムレットを読む	椋堂		124
5	3	不明	1910	3	不明	思潮	曾士茂梨之処と昭明懸	原秀四郎		128
5	3	不明	1910	3	不明	思潮	論語に就いて	亀谷聖巖		132
5	3	不明	1910	3	不明	思潮	イエナ雜感	野田義夫		134
5	3	不明	1910	3	不明	思潮	陽明楽離龍	高瀬武次郎		138
5	3	不明	1910	3	不明	時評	維新志士の遺墨を見る	深作生		146
5	3	不明	1910	3	不明	時評	教育雑誌	大島正徳		148
5	3	不明	1910	3	不明	時評	二月の短編小説	瀧の愁人		151
5	3	不明	1910	3	不明	時評	ひとり言	山の入		157
5	3	不明	1910	3	不明	時評	教育小言	■水生		158
5	3	不明	1910	3	不明	時評	一日一言	小林一郎		161
5	3	不明	1910	3	不明	彙報				170
5	3	不明	1910	3	不明	新刊紹介と批評				176
5	4	不明	1910	4	不明	口絵	口繪(山越阿弥陀)			
5	4	不明	1910	4	不明	口絵	教界春秋			1
5	4	不明	1910	4	不明	口絵	我邦宗教の革新	井上哲次郎		1
5	4	不明	1910	4	不明	口絵	国民性の意義と価値を誤解する勿れ	田中喜一		30
5	4	不明	1910	4	不明	口絵	大日本史の編纂に就いて	三上参次		40
5	4	不明	1910	4	不明	想筆	姫山	青木健作		52
5	4	不明	1910	4	不明	想筆	翌夜	みの字		61
5	4	不明	1910	4	不明	想筆	病院より	生田春月		69
5	4	不明	1910	4	不明	想筆	屋後より	澤村胡夷		73
5	4	不明	1910	4	不明	想筆	絃上	大野若三郎		74
5	4	不明	1910	4	不明	想筆	梅一枝	松浦		75
5	4	不明	1910	4	不明	想筆	短歌	尾上柴舟選		76
5	4	不明	1910	4	不明	想筆	俳句	志田素琴選		80
5	4	不明	1910	4	不明	想筆	英詩	野口米二郎		82
5	4	不明	1910	4	不明	思潮	発音の変化	藤岡勝二		84
5	4	不明	1910	4	不明	思潮	宗教界の二大問題	常盤大定		102
5	4	不明	1910	4	不明	思潮	平安朝時代の短歌に現はれたる懸詞の研究	尾上八郎		110
5	4	不明	1910	4	不明	思潮	家庭と神人教	三輪田元道		117
5	4	不明	1910	4	不明	思潮	中等学校の施設に関する疑義	湯原元一		123
5	4	不明	1910	4	不明	思潮	少年裁判の下に立てたる不良児	乙武岩造		130
5	4	不明	1910	4	不明	思潮	論語に表はれたる社会心理	徳谷豊之助		136
5	4	不明	1910	4	不明	思潮	農村青年と徳育	村上辰吉郎		140
5	4	不明	1910	4	不明	思潮	名勝舊跡の保存に就て	本多辰次郎		147
5	4	不明	1910	4	不明	思潮	イエナ雜感	野田義夫		150
5	4	不明	1910	4	不明	思潮	独逸語研究書目	青木昌吉		152
5	4	不明	1910	4	不明	時評	相撲は国技なり	葉山尋嶺		159
5	4	不明	1910	4	不明	時評	三月の創作、■歌	瀧の愁人		161
5	4	不明	1910	4	不明	時評	鶏声夜話	麓山人		167
5	4	不明	1910	4	不明	時評	中学生の話	堀田相爾		169
5	4	不明	1910	4	不明	時評	ひとり言	山の入		170
5	4	不明	1910	4	不明	時評	一日一言	小林一郎		172
5	4	不明	1910	4	不明	彙報				182
5	4	不明	1910	4	不明	新刊批評と紹介				186
5	5	不明	1910	5	不明	口絵	口繪(稲田姫)			
5	5	不明	1910	5	不明	口絵	教界春秋			1
5	5	不明	1910	5	不明	口絵	思想発展の情件に就いて	松本文三郎		1



5	5	不明	1910	5	不明	口絵	学術の通俗化流行を論ず	中島泰蔵	16	
5	5	不明	1910	5	不明	口絵	大日本史の編纂に就いて	三上参次	29	
5	5	不明	1910	5	不明	想筆	罪人	森林太郎	52	
5	5	不明	1910	5	不明	想筆	この箱	野田文花	68	
5	5	不明	1910	5	不明	想筆	新誌五篇	正富汪洋	80	
5	5	不明	1910	5	不明	想筆	浅草寺	大野若三郎	81	
5	5	不明	1910	5	不明	想筆	放浪吟	武林無想庵	83	
5	5	不明	1910	5	不明	想筆	君と住む家	千葉茂	84	
5	5	不明	1910	5	不明	想筆	短歌	尾上柴舟選	86	
5	5	不明	1910	5	不明	想筆	俳句	志田素琴選	89	
5	5	不明	1910	5	不明	想筆	漢詩三首	湯原元一	91	
5	5	不明	1910	5	不明	想筆	漢詩三首	有馬祐政	91	
5	5	不明	1910	5	不明	思潮	義の一字	谷本富	92	
5	5	不明	1910	5	不明	思潮	信仰問題に関する所蔵	金子馬治	94	
5	5	不明	1910	5	不明	思潮	越後の花水祝	加藤玄智	100	
5	5	不明	1910	5	不明	思潮	ソレルの百五十年祭	青木昌吉	104	
5	5	不明	1910	5	不明	思潮	新国定教科書の編纂に就て	吉田熊次	107	
5	5	不明	1910	5	不明	思潮	現社会の二主義	深作安文	111	
5	5	不明	1910	5	不明	思潮	人類学上より観たる我邦 弓矢	鳥居龍蔵	117	
5	5	不明	1910	5	不明	思潮	蒙古の音楽に就いて	鳥居君子	124	
5	5	不明	1910	5	不明	思潮	閑却せられたる桜の花	瀧村斐男	129	
5	5	不明	1910	5	不明	思潮	俗証定家歌集	坂元三郎	132	
5	5	不明	1910	5	不明	思潮	イエナ雜感	野田義夫	135	
5	5	不明	1910	5	不明	思潮	希■日本に於ける崇神天皇	木村鷹太郎	139	文字読めない
5	5	不明	1910	5	不明	思潮	マクス・ミュラー文庫図書解題	堀謙徳	151	
5	5	不明	1910	5	不明	思潮	森沢園伝	長井金風	154	
5	5	不明	1910	5	不明	時評	基督教の発展	赤司繁太郎	158	
5	5	不明	1910	5	不明	時評	教界寸評	一人生	164	
5	5	不明	1910	5	不明	時評	四月の小説と脚本	瀧の愁人	166	
5	5	不明	1910	5	不明	時評	中学生の話(その二)	堀田相爾	171	
5	5	不明	1910	5	不明	時評	ひとり言	山の人	173	
5	5	不明	1910	5	不明	時評	花下漫語	小林一郎	174	
5	5	不明	1910	5	不明	彙報			178	
5	5	不明	1910	5	不明	新刊批評と紹介			182	
5	6	不明	1910	6	不明	口絵	口繪(以西結之夢想)			
5	6	不明	1910	6	不明	口絵	教界春秋		1	
5	6	不明	1910	6	不明	口絵	日本石器時代遺跡の種類	坪井正五郎	1	
5	6	不明	1910	6	不明	口絵	現代の懷疑思想及其の影響	樋口秀雄	17	
5	6	不明	1910	6	不明	口絵	倭女王卑弥呼考	白鳥庫吉	26	
5	6	不明	1910	6	不明	想筆	皇子と燕	田波御白	47	
5	6	不明	1910	6	不明	想筆	写真	青木落風	59	
5	6	不明	1910	6	不明	想筆	木曜日	澤村胡夷	63	
5	6	不明	1910	6	不明	想筆	稽古	藤田篤	65	
5	6	不明	1910	6	不明	想筆	尺八の音よ	高濱長江	67	
5	6	不明	1910	6	不明	想筆	火山宴	大野若三郎	69	
5	6	不明	1910	6	不明	想筆	英詩「兵士の歌」	松浦一	71	
5	6	不明	1910	6	不明	想筆	短歌	尾上柴舟選	72	
5	6	不明	1910	6	不明	想筆	俳句	志田素琴選	75	
5	6	不明	1910	6	不明	思潮	社会組織の変遷と生活理想の推移	廣井辰太郎	77	
5	6	不明	1910	6	不明	思潮	漢学復興の原因に就て	虎石惠實	87	
5	6	不明	1910	6	不明	思潮	平安時代の短歌に現はれたる懸詞の研究	尾上八郎	91	
5	6	不明	1910	6	不明	思潮	歌学士雑談	佐々木信綱	98	
5	6	不明	1910	6	不明	思潮	語学大辞典出づ	志田義秀	101	
5	6	不明	1910	6	不明	思潮	文芸の発生史的觀察	小池秋草	104	
5	6	不明	1910	6	不明	思潮	大学中庸に現はれたる社会心理	徳永豊之助	111	
5	6	不明	1910	6	不明	思潮	李笠翁の「豔粧新語」を読む	東海林辰三郎	116	
5	6	不明	1910	6	不明	思潮	世界観人観の変化と新しき救世主の出現	大田黒作太郎	120	
5	6	不明	1910	6	不明	思潮	倫理儀の実験	堀田相爾	127	
5	6	不明	1910	6	不明	思潮	イエナ雜感	野田義夫	133	
5	6	不明	1910	6	不明	思潮	素心尼伝	須藤求馬	136	
5	6	不明	1910	6	不明	思潮	マクス・ミュラー文庫図書解題	堀謙徳	140	
5	6	不明	1910	6	不明	思潮				
5	6	不明	1910	6	不明	時評	宗教思想界の動揺	赤司繁太郎	142	
5	6	不明	1910	6	不明	時評	時代の趨勢に就いて	静庵学人	151	
5	6	不明	1910	6	不明	時評	歌壇一瞥	金澤美巖	154	
5	6	不明	1910	6	不明	時評	ひとり言	山の人	160	
5	6	不明	1910	6	不明	時評	片言双句	■生	161	
5	6	不明	1910	6	不明	彙報			162	
5	6	不明	1910	6	不明	新刊批評と紹介			168	
赤穂義士号	赤穂義士号	不明	1910	5	不明		開会の辞(赤穂義士研究会)	井上哲次郎	1	
赤穂義士号	赤穂義士号	不明	1910	5	不明		赤穂義士に就いて	加藤弘之	4	
赤穂義士号	赤穂義士号	不明	1910	5	不明		赤穂義士に就いて	久米邦武	16	
赤穂義士号	赤穂義士号	不明	1910	5	不明		赤穂義士に就いて	三上参次	47	
赤穂義士号	赤穂義士号	不明	1910	5	不明		浅野内匠頭刀傷の処置に就いて	西村豊	59	
赤穂義士号	赤穂義士号	不明	1910	5	不明		元禄快拳の一研究	福本誠	77	
赤穂義士号	赤穂義士号	不明	1910	5	不明		赤穂義士に就いて	長谷川芳之助	85	
赤穂義士号	赤穂義士号	不明	1910	5	不明		赤穂義士に就いて	三宅雄二郎	93	
赤穂義士号	赤穂義士号	不明	1910	5	不明		美しい戯曲として味ふ	元良勇次郎	96	
赤穂義士号	赤穂義士号	不明	1910	5	不明		忠臣蔵は大石には不似合いな小事件である	遠藤隆吉	102	
赤穂義士号	赤穂義士号	不明	1910	5	不明		赤穂義士に就いて	吉田静致	105	
赤穂義士号	赤穂義士号	不明	1910	5	不明		赤穂義士に就いて	吉田熊次	114	
赤穂義士号	赤穂義士号	不明	1910	5	不明		赤穂義士の教訓と其評價	深作安文	121	
赤穂義士号	赤穂義士号	不明	1910	5	不明		赤穂義士に就いて	井上哲次郎	136	
5	7	不明	1910	7	不明	口絵	口繪(シエクスピーヤ・チョーサー・ミルトン)			
5	7	不明	1910	7	不明	口絵	教界春秋		1	
5	7	不明	1910	7	不明	口絵	神道の過去及び将来	井上哲次郎	1	
5	7	不明	1910	7	不明	口絵	倭女王卑弥呼考	白鳥庫吉	12	
5	7	不明	1910	7	不明	口絵	日本石器時代遺跡の種類	坪井正五郎	40	
5	7	不明	1910	7	不明	想筆	独り身	水上夕波	55	
5	7	不明	1910	7	不明	想筆	井筒の花	串川瀧部	66	
5	7	不明	1910	7	不明	想筆	お前の手	正富汪洋	74	
5	7	不明	1910	7	不明	想筆	裾野	武林無想庵	76	
5	7	不明	1910	7	不明	想筆	影のごときものなれ	大野若三郎	79	
5	7	不明	1910	7	不明	想筆	短歌	尾上柴舟選	80	
5	7	不明	1910	7	不明	想筆	俳句	志田素琴選		記事なし
5	7	不明	1910	7	不明	思潮	日本におけるユニテリアン主義	マッコーレー	83	
5	7	不明	1910	7	不明	思潮	日本の言語と旋律に就て	田邊尚雄	94	
5	7	不明	1910	7	不明	思潮	文学上兎髯の起源及変遷	堀謙徳	99	
5	7	不明	1910	7	不明	思潮	仏陀觀の社会的根拠	椎尾銜匡	107	
5	7	不明	1910	7	不明	思潮	人間の深さ	江部淳夫	114	
5	7	不明	1910	7	不明	思潮	柳門の狂歌に就て	山内素行	120	
5	7	不明	1910	7	不明	思潮	繁辭伝文言伝につきて	岡澤鉦次郎	125	

5	7	不明	1910	7	不明	思潮	文芸の主観主義	太田善男	130	
5	7	不明	1910	7	不明	思潮	李笠翁の『豔粧新語』を読む	東海林辰三郎	134	
5	7	不明	1910	7	不明	思潮	蒙古の音楽に就いて	鳥居君子	138	
5	7	不明	1910	7	不明	思潮	時代思潮と青年	浦谷熊吉	147	
5	7	不明	1910	7	不明	思潮	独逸文学研究書目	青木昌吉	154	
5	7	不明	1910	7	不明	時評	基督教の将来	赤司繁太郎	158	
5	7	不明	1910	7	不明	時評	歌壇一瞥	金澤美蔵	162	
5	7	不明	1910	7	不明	時評	ひとり言	山の人	168	
5	7	不明	1910	7	不明	時評	中学生の話	堀田相爾	169	
5	7	不明	1910	7	不明	時評	煙雨茶談	桃江散士	171	
5	7	不明	1910	7	不明	時評	家庭儀式案	一人生	172	
5	7	不明	1910	7	不明	叢報			174	
5	7	不明	1910	7	不明	新刊批評と紹介			178	
5	8	不明	1910	8	不明	口絵	口繪(日蓮開宗の繪)			
5	8	不明	1910	8	不明	口絵	教界春秋		1	
5	8	不明	1910	8	不明	口絵	道徳上の三淘汰	加藤弘之	1	
5	8	不明	1910	8	不明	口絵	絶対論と人格的唯心論及び認識問題	紀平正美	16	
5	8	不明	1910	8	不明	口絵	神道の過去及び将来	井上哲次郎	45	
5	8	不明	1910	8	不明	想華	明い世界	青木吉江	59	
5	8	不明	1910	8	不明	想華	江の島	青木落風	66	
5	8	不明	1910	8	不明	想華	ボテ	土屋瘦猿	69	
5	8	不明	1910	8	不明	想華	生きてあり	毛呂清春	72	
5	8	不明	1910	8	不明	想華	短歌	尾上柴舟選	73	
5	8	不明	1910	8	不明	想華	俳句	志田素琴選	76	
5	8	不明	1910	8	不明	想華	英詩	松浦一	78	
5	8	不明	1910	8	不明	想華	英詩	和田垣謙三	79	
5	8	不明	1910	8	不明	想華	漢詩	魚谷聖謨	80	
5	8	不明	1910	8	不明	想華	漢詩	有馬裕政	80	
5	8	不明	1910	8	不明	思潮	宗教の三方面	桑木巖蔵	81	
5	8	不明	1910	8	不明	思潮	清正は果たして蔚山に龍城せしや	幣原担	86	
5	8	不明	1910	8	不明	思潮	文学士の上より見たる孔子	岡田正之	91	
5	8	不明	1910	8	不明	思潮	歌楽新説	佐々木信綱	102	
5	8	不明	1910	8	不明	思潮	平安時代の短歌に現はれたる懸詞の研究	尾上八郎	107	
5	8	不明	1910	8	不明	思潮	十劫の弥陀と久遠の弥陀	北村教蔵	110	
5	8	不明	1910	8	不明	思潮	発達の心理学研究の必要	速水滉	127	
5	8	不明	1910	8	不明	思潮	武士道	北澤定吉	132	
5	8	不明	1910	8	不明	思潮	独逸文学研究書目	青木昌吉	139	
5	8	不明	1910	8	不明	時評	文科生に苦言を呈す	MO生	142	
5	8	不明	1910	8	不明	時評	夏の基督教界	赤司繁太郎	146	
5	8	不明	1910	8	不明	時評	巢鴨監獄參觀記	雪澤漁郎	148	
5	8	不明	1910	8	不明	時評	歌壇一瞥	金澤美蔵	151	
5	8	不明	1910	8	不明	時評	ひとり言	山の人	156	
5	8	不明	1910	8	不明	時評	夏季講習会に就いて	堀田相爾	157	
5	8	不明	1910	8	不明	時評	雨窓独語	小林一郎	158	
5	8	不明	1910	8	不明	叢報			163	
5	8	不明	1910	8	不明	新刊紹介			166	
5	9	不明	1910	9	不明	口絵	口繪(東亜協界第二回夏期講習会々員)			
5	9	不明	1910	9	不明	口絵	教界春秋		1	
5	9	不明	1910	9	不明	口絵	聖人論	井上哲次郎	1	
5	9	不明	1910	9	不明	口絵	宗教界の三大潮流—神人同格教と神人懸隔教とに就いて	加藤玄智	17	
5	9	不明	1910	9	不明	口絵	道徳的平民主義を説いて個人主義と家族主義との調和に及ぶ	吉田静致	31	
5	9	不明	1910	9	不明	口絵	精神可能性と人格	福来友吉	43	
5	9	不明	1910	9	不明	想華	笑	森鷗外	58	
5	9	不明	1910	9	不明	想華	鳥賊の骨	吉田白甲	82	
5	9	不明	1910	9	不明	想華	窓に倚って	正富汪洋	89	
5	9	不明	1910	9	不明	想華	英詞「洪水」	松浦一	92	
5	9	不明	1910	9	不明	想華	短歌	尾上柴舟選	93	
5	9	不明	1910	9	不明	想華	俳句	志田素琴選	96	
5	9	不明	1910	9	不明	思潮	創作の美学	太田善男	98	
5	9	不明	1910	9	不明	思潮	三澤氏著『国民性と教育方針』と鄙著『日本人種改造論』との異同と国民性	海野幸徳	103	
5	9	不明	1910	9	不明	思潮	武士道	北澤定吉	113	
5	9	不明	1910	9	不明	思潮	童話「文福茶釜」の研究	志田義秀	121	
5	9	不明	1910	9	不明	思潮	面皇統と師範家	山内兼行	126	
5	9	不明	1910	9	不明	思潮	独逸文学研究書目	青木昌吉	131	
5	9	不明	1910	9	不明	時評	涼風録	葉山曼橋	136	
5	9	不明	1910	9	不明	時評	故豊島君を懐ふ	岩橋遵成	139	
5	9	不明	1910	9	不明	時評	樹下閑話	黙■散士	142	
5	9	不明	1910	9	不明	時評	ひとり言	山の人	143	
5	9	不明	1910	9	不明	時評	雨窓独語	小林一郎	145	
5	9	不明	1910	9	不明	叢報			150	
5	9	不明	1910	9	不明	新刊紹介			153	
5	10	不明	1910	10	不明	口絵	口繪(蘇東坂)			
5	10	不明	1910	10	不明	口絵	教界春秋		1	
5	10	不明	1910	10	不明	口絵	日韓併合に就いての所感	井上哲次郎	1	
5	10	不明	1910	10	不明	口絵	精神可能性と人格	福来友吉	19	
5	10	不明	1910	10	不明	口絵	毛麻利叱咤に就いて	宮崎道三郎	33	
5	10	不明	1910	10	不明	想華	親友	田波御白	48	
5	10	不明	1910	10	不明	想華	杖	澤村胡夷	62	
5	10	不明	1910	10	不明	想華	蟬の伴奏	高浜長江	64	
5	10	不明	1910	10	不明	想華	詩人よ教へよ	正富汪洋	65	
5	10	不明	1910	10	不明	想華	英詩「朝鮮」	松浦一	67	
5	10	不明	1910	10	不明	想華	英詩の敷衍	磯邊彌一郎	68	
5	10	不明	1910	10	不明	想華	漢詩	市村環次郎	70	
5	10	不明	1910	10	不明	想華	漢詩	荻野山之	70	
5	10	不明	1910	10	不明	想華	漢詩	井上園了	70	
5	10	不明	1910	10	不明	想華	漢詩	有馬裕政	70	
5	10	不明	1910	10	不明	想華	漢詩	高島平三郎	71	
5	10	不明	1910	10	不明	想華	短歌	尾上柴舟選	72	
5	10	不明	1910	10	不明	想華	俳句	志田素琴選	76	
5	10	不明	1910	10	不明	思潮	單純感情の研究	中島泰蔵	78	
5	10	不明	1910	10	不明	思潮	日本ユニテリアン主義に関するマツコレー氏の謬見	廣井辰太郎	87	
5	10	不明	1910	10	不明	思潮	平安朝時代の短歌に現はれたる懸詞の研究	尾上八郎	96	
5	10	不明	1910	10	不明	思潮	精神修養と経験	淀野耀淳	100	
5	10	不明	1910	10	不明	思潮	衣食住と人類の文化及び其の意義	今澤慈海	108	
5	10	不明	1910	10	不明	思潮	過去の女性	三輪田元道	112	
5	10	不明	1910	10	不明	思潮	孔子教研究書目に就いて	宇野哲人	116	
5	10	不明	1910	10	不明	思潮	独逸文学研究書目	青木昌吉	121	
5	10	不明	1910	10	不明	時評	歌壇一瞥	美蔵	126	
5	10	不明	1910	10	不明	時評	荻城下の一	氣嶺	130	
5	10	不明	1910	10	不明	時評	老人天下	黙■生	134	文字つぶれ
5	10	不明	1910	10	不明	時評	ローズベルト氏と正義の観念	同	135	
5	10	不明	1910	10	不明	時評	ひとり言	一人生	136	

5	10	不明	1910	10	不明	彙報			138	
5	10	不明	1910	10	不明	新刊紹介			146	
5	10	不明	1910	11	不明	口絵	口繪(秋思「ベクリン」)			
5	10	不明	1910	11	不明	口絵	教界春秋		1	
5	10	不明	1910	11	不明	口絵	近時の日本人種論	井上哲次郎	1	
5	10	不明	1910	11	不明	口絵	国史の研究法に就て	荻野由之	12	
5	10	不明	1910	11	不明	口絵	自我の觀念	元良勇次郎	35	
5	10	不明	1910	11	不明	想華	赤兒	水上汐波	56	
5	10	不明	1910	11	不明	想華	お醫者	小金井喜美子	65	
5	10	不明	1910	11	不明	想華	君に問ふ	正富汪洋	73	
5	10	不明	1910	11	不明	想華	風船虫	大野若三郎	75	
5	10	不明	1910	11	不明	想華	英詩「新年の雪」	和田垣謙三	79	
5	10	不明	1910	11	不明	想華	英詩「落葉」	松浦一	79	
5	10	不明	1910	11	不明	想華	英詩	野口米二郎	77	
5	10	不明	1910	11	不明	想華	漢詩	乃木希典・松浦厚	80	
5	10	不明	1910	11	不明	想華	漢詩	湯原元一	80	
5	10	不明	1910	11	不明	想華	雁來紅		81	
5	10	不明	1910	11	不明	想華	短歌	尾上柴舟選	83	
5	10	不明	1910	11	不明	想華	俳句	志田素琴選	86	
5	10	不明	1910	11	不明	思潮	孟子に表はれたる社会心理的事実	徳谷豊之助	88	
5	10	不明	1910	11	不明	思潮	平安朝時代の短歌に現はれたる戀詞の研究	尾上八郎	98	
5	10	不明	1910	11	不明	思潮	童話「文福茶釜」の研究	志田義秀		
5	10	不明	1910	11	不明	思潮	衣食住と人類の文化及び其の意義	今澤慈海	102	
5	10	不明	1910	11	不明	思潮	衣食住と人類の文化	今澤慈海	110	
5	10	不明	1910	11	不明	思潮	現代思想界の反省を促す	淺野利三郎	115	
5	10	不明	1910	11	不明	思潮	国民性上の韓国併合	牛田鹿之丞	119	
5	10	不明	1910	11	不明	思潮	独逸文学研究書目	青木昌吉	123	
5	10	不明	1910	11	不明	時評	ひとり言	山の人	128	
5	10	不明	1910	11	不明	時評	生活思潮 外二	甬水生	130	
5	10	不明	1910	11	不明	時評	楽屋養護	甬水生	132	
5	10	不明	1910	11	不明	時評	国民道徳と世界道徳	甬水生	133	
5	10	不明	1910	11	不明	時評	雨窓独語	小林一郎	134	
5	10	不明	1910	11	不明	時評	歌壇一瞥	金澤美麩	138	
5	10	不明	1910	11	不明	彙報			144	
5	10	不明	1910	11	不明	新刊紹介			150	
5	10	不明	1910	12	不明	口絵	口繪(聖母)			
5	10	不明	1910	12	不明	口絵	教界春秋		1	
5	10	不明	1910	12	不明	口絵	豊太閤とナボレオン	井上哲次郎	1	
5	10	不明	1910	12	不明	口絵	人種の研究は如何なる方法によるべきか	鳥居龍藏	18	
5	10	不明	1910	12	不明	口絵	国民的自覚に就いて	深作安文	39	
5	10	不明	1910	12	不明	想華	外劇	吉田白甲	62	
5	10	不明	1910	12	不明	想華	小品二題	澤村胡夷	74	
5	10	不明	1910	12	不明	想華	雨の音楽	高瀨長江	79	
5	10	不明	1910	12	不明	想華	我が任務	正富汪洋	80	
5	10	不明	1910	12	不明	想華	英詩「晩秋」	松浦一	83	
5	10	不明	1910	12	不明	想華	漢詩	有馬祐政	84	
5	10	不明	1910	12	不明	想華	短歌	金澤美麩	85	
5	10	不明	1910	12	不明	想華	短歌	尾上柴舟選	87	
5	10	不明	1910	12	不明	想華	俳句	志田素琴選	90	
5	10	不明	1910	12	不明	思潮	馬尾蜂の産卵(千里眼説明の一材料)	丘淺次郎	92	
5	10	不明	1910	12	不明	思潮	探湯考	金澤庄三郎	95	
5	10	不明	1910	12	不明	思潮	新定国語読本の取扱に就いて	乙武岩造	97	
5	10	不明	1910	12	不明	思潮	童話「文福茶釜」の研究	志田義秀	114	
5	10	不明	1910	12	不明	思潮	羅馬思想と支那思想	淺野利三郎	121	
5	10	不明	1910	12	不明	思潮	若き学者の妻に	鳥居きみ子	129	
5	10	不明	1910	12	不明	思潮	独逸文学研究書目	青木昌吉	131	
5	10	不明	1910	12	不明	時評	文部省展覧会の日本書を評す	水島耕一郎	136	
5	10	不明	1910	12	不明	時評	教界時評	赤司生	141	
5	10	不明	1910	12	不明	時評	偶語録	梶生	143	
5	10	不明	1910	12	不明	時評	歌壇一瞥	金澤美麩	145	
5	10	不明	1910	12	不明	時評	教界時言	黙■散士	147	文字つぶれ
5	10	不明	1910	12	不明	時評	ひとり言	山の人	148	
5	10	不明	1910	12	不明	時評	秋晴雑話	小林一郎	150	
5	10	不明	1910	12	不明	彙報			154	
5	10	不明	1910	12	不明	新刊紹介			156	